

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	古川ゼミ II
チーム名	古川 4 th Children
タイトル	第 1 話 金融危機、襲来
テーマ群	b) 財政・金融
メンバー	◎井原優衣 木村平 小吉秀明 出羽亮 西川佳輝 乾祥陽
研究計画内容	<p>私達のチームは去年大きな話題となったギリシャ危機と日本の財政赤字について調べます。研究の流れとして、ギリシャ危機の発端と原因、なぜ海運と観光が主産業であるギリシャが多額の財政赤字抱えることになったのか調べます。次にヨーロッパ連合と単一通貨ユーロの問題点を明らかにしていきます。特に欧州中央銀行と各国の関係について調べます。</p> <p>最後に日本とギリシャの財政状況の比較をし、日本での金融危機発生の可能性を調べます。ギリシャ問題は日本にとって対岸の火事ではないかもしれません。日本とギリシャの経済規模が違うので単純に比較する事はできないが、日本の財政赤字もかなりひどい状況です。2010 年度の財政赤字は 44 兆円に達する見込みで、歳出総額の半分近くを赤字国債で賄っており、異常な状態であると言えます。対 GDP 比に対する政府債務残高はギリシャが 115%であるのに対し、日本は 218%と先進国の中でも突出して高い水準です。このような状態であるにもかかわらずギリシャと違って日本の財政赤字問題は表面化していません。ギリシャ国債の金利が上昇するなかで、日本国債は低金利で推移しています。</p> <p>ではなぜ表面化しないのか？その理由は日本の赤字国債の多くは日本国民が買っていること、1400 兆円もあると言われていた日本の高い貯蓄率にあると言われていました。これらの状況は今後数年で大きく変わることはないと思われるが、少子高齢化が進行している日本において家計の貯蓄が低下する事が現実視されています。10 年後、20 年後日本でギリシャの様な金融危機が発生する可能性があるのか。</p> <p>以上の内容を発表する予定です。これらについて詳しく分かりやすく解説していきます。</p>